

# マンスリータイムズ

紀北支援学校

平成30年9月号

## 不審者対応訓練

子どもたちが安心安全に学校生活を送ること、そして命を守るために、日頃からの訓練は大切であると考えています。その一環として、学校8月28日(火)午前には教職員の不審者対応訓練を行いました。毎年東警察署と連携し、不審者が刃物を持って校内に侵入したという設定で行っています。今年も、中棟に不審者が侵入し、教員が見つけた声をかけるところからスタートしました。すぐに暗号による校内放送で不審者が侵入したことを伝え、教職員は、教室内で児童生徒の安全を確保し、一方で数人の教職員が「さすまた」を持って不審者の元に向かい、児童生徒に近づいて危害を加えないように威嚇し、その動きを制止しました。

訓練終了後は、警察官を交えて訓練の様子をビデオで振り返りながら確認し、良かった点、反省点などを話し合いました。また効果的な「さすまた」の使い方を指導していただきました。

不審者が校内に侵入した場合に備え、訓練の大切さを認識すると共に、児童生徒の命を守るため、日頃から一人一人が挨拶や声かけなどを積極的に行うことの重要性、並びに有事の際の対応方法について改めて知る機会となりました。



## 台風21号について

9月4日に近畿地方に最接近した非常に勢力の強い台風21号は、各地に様々な被害をもたらしました。特に20数年ぶりの規模であった暴風の威力はすさまじく、本校でも教室の窓ガラスが割れたり、大木が倒れたりしました。教職員からも「屋根の瓦が飛んだ」「木製の塀が倒れた」という被害の大きさを物語る声が聞かれました。また数日間という長期にわたる停電も過去の記憶にないものでした。

学校としましても、今回の台風被害を糧に、もう一度災害に対しての準備や災害が起きたときの対応などを想定し、教職員で防災についてしっかりと話し合い、今後はさらに災害に備えていきたいと思えます。

